

アクサ生命の変額個人年金保険

5年計画

保証金額付特別勘定年金特約(定期I型)付変額個人年金保険(06)

保証金額付特別勘定年金特約(定期II型)付変額個人年金保険(06)

特別勘定(世界分散型30DI) 月次運用レポート

2009年2月

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント

【利用する投資信託の委託会社】 DIAMアセットマネジメント株式会社 (旧:興銀第一ライフ・アセットマネジメント株式会社)

1999年に第一ライフ投信投資顧問、興銀NWアセットマネジメント、日本興業投信の3社が合併して発足しました。競争力のある運用ノウハウ、人材を結集し、高品質な商品およびサービスをご提供しています。

【利用する投資信託の委託会社商号変更のお知らせ】

2008年1月1日より、利用する投資信託の委託会社であります「興銀第一ライフ・アセットマネジメント株式会社」が「DIAMアセットマネジメント株式会社」に商号変更いたしました。商号変更に伴う投資信託の名称・運用方針・運用体制などに変更はございません。当該日以後「商品パンフレット」「特別勘定のしおり」などに記載の同社名につきましては上記のようにお読み替えいただきますようお願い申し上げます。

・アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(定期I型)/(定期II型)付変額個人年金保険(06)」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。

・特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。

・当資料は、アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(定期I型)/(定期II型)付変額個人年金保険(06)」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。

・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。

・商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要、注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。

・当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしていますので、合計等と合致しないことがあります。

保証金額付特別勘定年金特約(定期型)付変額個人年金保険(06)

保証金額付特別勘定年金特約(定期型)付変額個人年金保険(06)

特別勘定の月次運用レポート(2009年2月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2009年2月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、前月に続き下落し、TOPIX(東証株価指数)は前月末比4.70%下落の756.71ポイントで終了しました。上旬は揉み合う展開が続きましたが、その後、米金融安定化策の実効性に疑問が持たれたことから政策期待が後退し、金融不安再燃による米株急落につながり、TOPIXは一時、バブル崩壊後の安値を更新しました。月末にかけては、政府による株価対策や円安急伸を好感して、月初からの下落幅を縮めました。業種別(東証33業種)では、原材料価格の下落や円安傾向を受けて「ゴム製品」(前月末比+11.64%)が最も上昇した一方、商工ローン大手の破綻などが嫌気された「その他金融」(同 30.79%)が最も下落しました。

【外国株式市場】

外国株式市場は、軟調に推移しました。米国株式市場は下落し、NYダウは前月末比11.72%下落の7,062.93ポイントで終了しました。米金融安定化策に対する期待感が、中旬以降は具体的策が示されなかったことから失望に変わり、株価は下落に転じました。月末にかけて金融システム不安の再燃を嫌気した売りが膨らみ、急落する展開となりました。欧州株式市場も下落し、市場別騰落率は、英FT100は前月末比7.70%下落、仏CAC40は同9.13%下落、独DAXは同11.40%下落となりました。欧州での景気後退懸念や金融不安の広がりを背景に、米国と同様に軟調な展開となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、揉み合いながら推移し、新発10年国債利回りは当月末1.270%となりました(前月末は1.270%)。米国での国債需給悪化懸念による金利上昇を嫌気して、上旬は一時1.3%台半ばまで利回りが上昇しましたが、中旬以降は世界的な株安傾向や、1974年以来の大額マイナスとなった10~12月期の実質国内総生産(GDP)などの軟調な経済指標を受けて、再び1.2%台に戻すなど、方向感が定まらず、1.3%前後の狭い範囲内で揉み合う展開となりました。日銀は、政策金利を据え置き、年0.1%を維持しました。無担保コール(翌日物)は、0.1%程度の水準で推移しました。

【外国債券市場】

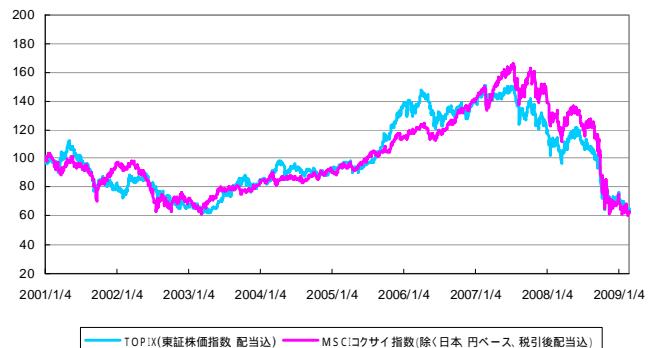
外国債券市場は、揉み合う展開となりました。米国債券市場は、足元の経済状況の悪化を示唆する経済指標が相次いだことが債券の買い材料となった一方、政府の一連の景気刺激策に伴う財政悪化懸念などが債券の売り材料となりました。米10年国債利回りは、当月末3.013%となりました(前月末は2.840%)。欧州債券市場は、発表された経済指標がユーロ圏の景気後退の深刻化を示すものとなったことに加え、一部金融機関の格下げ懸念などを背景に「質への逃避」の動きが高まったことなどから、下旬にかけて利回りは低下しました。独10年国債利回りは、当月末3.112%となりました(前月末は3.296%)。F.R.B(米連邦準備制度理事会)は、フェデラル・ファンド(FF)金利の誘導目標を据え置き、年0.0~0.25%を維持しました。E.C.B(欧州中央銀行)は政策金利を据え置き、年2.0%を維持しました。

【外国為替市場】

米ドル/円相場は、日本の急激な景気悪化や政局混迷を背景に、持ち高解消の円売りドル買いが加速しました。円は対ドルで前月末比8円26銭(-9.22%)円安ドル高の1ドル=97円81銭となりました。ユーロ/円相場は、欧州の景気後退や金融不安によるユーロ売りもみられましたが、日本の景気悪化と政局混迷による円売りが優勢となり、円安が進行しました。円は対ユーロで前月末比8円70銭(-7.53%)円安ユーロ高の1ユーロ=124円23銭となりました。

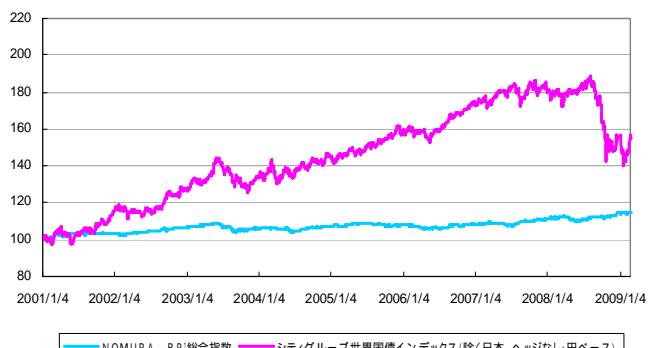
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

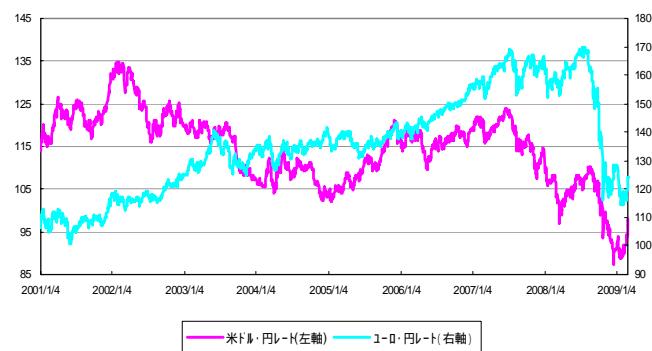


日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所:株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【募集代理店】 取扱者(生命保険募集人) 株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
TEL: 0120 375 193
アクサ生命ホムペー・ジ
<http://www.axa.co.jp/life/>

保証金額付特別勘定年金特約(定期型)付変額個人年金保険(06)
 保証金額付特別勘定年金特約(定期型)付変額個人年金保険(06)
特別勘定の月次運用レポート(2009年2月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2009年2月末日現在]

特別勘定名	利用する投資信託の運用方針
世界分散型30DI	当ファンドは、日本および世界の株式、債券などへ分散投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。投資対象となる各資産の合成インデックスをベンチマークとし、ベンチマークに連動する投資成果を目指します。 基本資産配分比率は下記の通りとなります。当ファンドにおいて、外国債券の資産配分比率である40%のうち、15%相当部分を為替ヘッジします。 国内株式：10% 外国株式：20% 国内債券：30% 外国債券(為替ヘッジなし)：25% 国外債券(為替ヘッジあり)：15% リバランスは、1ヵ月毎(月末時点)に基本資産配分比率に戻すことを原則とします。 当ファンドの主なリスクとして、価格変動リスク、為替リスク、信用リスク、金利変動リスクなどがあります。
利用する投資信託	
DIAM アクサ グローバル バランスファンド30VA (適格機関投資家限定)	

特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、各特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定の ユニットプライス	騰落率(%)
2009年2月末	74.70
2009年1月末	73.72
2008年12月末	77.49
2008年11月末	77.00
2008年10月末	78.34
2008年9月末	86.38
過去1ヶ月	1.33
過去3ヶ月	2.98
過去6ヶ月	19.43
過去1年	20.74
過去3年	-
設定来	25.29

- 世界分散型30DIの特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2007年2月13日)を100.00として計算しております。
- 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する今月末のユニットプライスの変動率を表しています。

特別勘定資産の内訳

項目	世界分散型30DI	
	金額(千円)	比率(%)
その他有価証券	14,065,728	98.8
現預金・コールローン	164,978	1.2
その他	-	-
合計	14,230,707	100.0

- 特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
- 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

【募集代理店】 取扱者(生命保険募集人)
 株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
 アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
 TEL: 0120 375 193
 アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

保証金額付特別勘定年金特約(定期型)付変額個人年金保険(06)

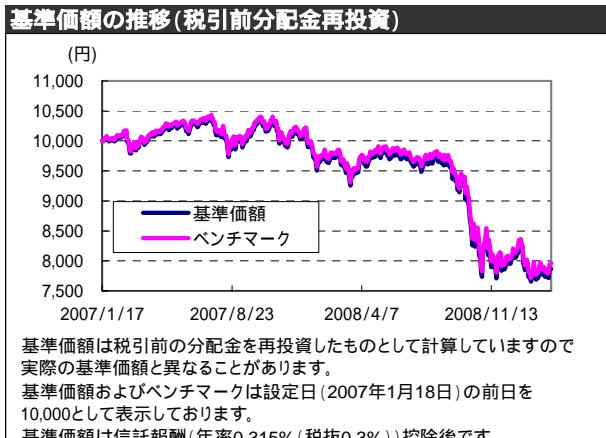
保証金額付特別勘定年金特約(定期型)付変額個人年金保険(06)

特別勘定の月次運用レポート(2009年2月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、DIAMアセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

DIAM アクサ グローバル バランスファンド30VA(適格機関投資家限定)の運用状況 [2009年2月末日現在]

ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



当月末基準価額・純資産総額

当月末基準価額・純資産総額	
基 準 価 額	7,867 円
純 資 産 総 額	25,722 百万円
設 定 日	2007年1月18日
決 算 日	原則 6月 22日
信 託 期 間	無期限

騰落率(税引前分配金再投資)

	1ヶ月 (2009/01/30)	3ヶ月 (2008/11/28)	6ヶ月 (2008/08/29)	1年 (2008/02/29)	設定来 (2007/01/17)
当ファンド	1.52%	-2.44%	-18.64%	-19.02%	-21.33%
ベンチマーク	1.27%	-2.24%	-18.46%	-18.66%	-20.40%
差	0.25%	-0.20%	-0.18%	-0.36%	-0.93%

騰落率は税引前の分配金を再投資したものとして算出しておりますので実際の投資家利回りと異なることがあります。

分配金情報(税引前)

	分配金	分配金は1万口当たり
第1期 (2007.06.22)	0 円	
第2期 (2008.06.23)	0 円	
累計分配金	0 円	

分配対象額が少額の場合には、分配を行わない場合があります。

ポートフォリオ構成

	実質組入比率	基本資産配分比率	差
国内株式	10.1%	10.0%	0.1%
国内債券	29.8%	30.0%	-0.2%
外国株式	19.9%	20.0%	-0.1%
外国債券	40.0%	40.0%	0.0%
現金等	0.2%	0.0%	0.2%
合計	100.0%	100.0%	-

計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないとなどにより、ファンドの実質組入比率と基本資産配分比率が、一時的に大幅に乖離したり「現金等」の比率がマイナスになる場合があります。

株式には投資証券、投資信託受益証券及び新株予約権証券を含む場合があります。

外国債券の資産配分比率である40%のうち、15%相当部分を為替ヘッジします。

ファンドの特色

主な投資対象	主として国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド、国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド、外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンドおよび外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンドの各受益証券への投資を通じ、国内株式・国内債券・外国株式・外国債券へ投資します。
投資方針	マザーファンド受益証券への投資を通じ、内外の株式および公社債を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。
ベンチマーク	以下の各資産のベンチマークを基本資産配分比率で組入れた合成指数とします。

各資産のベンチマーク

[国内株式]	東証株価指数(TOPIX、配当込み)
[国内債券]	NOMURA - BPI総合
[外国株式]	MSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース、配当込み)
[外国債券(為替ヘッジなし)]	シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)
[外国債券(為替ヘッジあり)]	シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)

当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。

当資料はあくまで情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧説を目的とするものではありません。

投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、市場環境・組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変動により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証及び利回り保証のいずれもありません。

当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデーティにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データはあくまで過去の実績であり、将来の運用成績を保証するものではありません。

投資信託は

1. 預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金保険機関及び保険契約者保護機関の保護の対象ではありません。また証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。

2. 金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額については元本保証及び利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することになります。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント



【募集代理店】 取扱者(生命保険募集人)
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
TEL: 0120 375 193
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

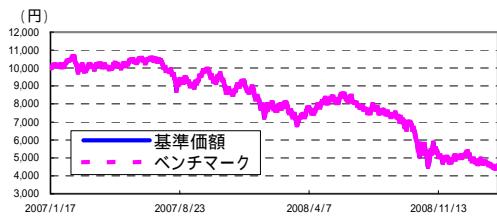
保証金額付特別勘定年金特約(定期型)付変額個人年金保険(06) 保証金額付特別勘定年金特約(定期型)付変額個人年金保険(06) 特別勘定の月次運用レポート(2009年2月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、DIAMアセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況 [2009年2月末日現在]

ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド



比率は組入株式時価総額比

騰落率

	1ヶ月 (2009/01/30)	3ヶ月 (2008/11/28)	6ヶ月 (2008/08/29)	1年 (2008/02/29)	設定来 (2007/01/17)
当ファンド	-4.58%	-9.15%	-39.10%	-41.69%	-54.14%
ベンチマーク	-4.66%	-9.22%	-39.10%	-41.71%	-54.19%
差	0.08%	0.06%	0.00%	0.02%	0.04%

純資産総額 158,669 百万円

設定来の騰落率は2007年1月17日を基準に算出しています。

東証株価指数(TOPIX)に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 1708銘柄)

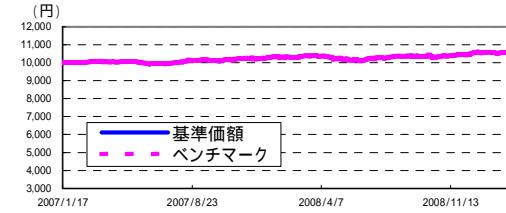
No	銘柄	業種	比率(%)
1	トヨタ自動車	輸送用機器	4.23
2	三菱UFJフィナンシャルG	銀行業	2.72
3	本田技研	輸送用機器	2.11
4	日本電信電話	情報・通信業	2.00
5	東京電力	電気・ガス業	1.81
6	任天堂	その他製品	1.56
7	エヌ・ティ・ティ・ドコモ	情報・通信業	1.55
8	キヤノン	電気機器	1.52
9	武田薬品	医薬品	1.52
10	三井住友フィナンシャルG	銀行業	1.37

組入上位10業種

	業種名	当ファンド	ベンチマーク	差
1	電気機器	12.04	12.04	0.01
2	銀行業	10.20	10.20	0.00
3	輸送用機器	9.32	9.32	0.00
4	電気・ガス業	7.35	7.35	0.00
5	情報・通信業	6.74	6.75	0.00
6	化学	5.44	5.44	0.00
7	医薬品	5.14	5.13	0.00
8	陸運業	4.66	4.66	0.00
9	卸売業	4.36	4.36	0.00
10	機械	3.89	3.89	0.00

国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

比率は組入債券時価総額比



騰落率

	1ヶ月 (2009/01/30)	3ヶ月 (2008/11/28)	6ヶ月 (2008/08/29)	1年 (2008/02/29)	設定来 (2007/01/17)
当ファンド	0.23%	1.36%	1.83%	2.16%	5.79%
ベンチマーク	0.22%	1.33%	1.70%	2.02%	5.67%
差	0.02%	0.03%	0.13%	0.14%	0.12%

純資産総額 241,706 百万円

設定来の騰落率は2007年1月17日を基準に算出しています。

NOMURA-BPI総合は野村證券株式会社によって計算、公表されている投資収益指数で、野村證券株式会社の知的財産です。

セクター別比率

(組入銘柄数: 500銘柄)

No	銘柄	比率(%)
1	52回利付国庫債券(5年)	2.22
2	57回利付国庫債券(5年)	2.12
3	296回利付国庫債券(10年)	1.91
4	49回利付国庫債券(5年)	1.88
5	293回利付国庫債券(10年)	1.75
6	60回利付国庫債券(5年)	1.74
7	297回利付国庫債券(10年)	1.68
8	47回利付国庫債券(5年)	1.66
9	54回利付国庫債券(5年)	1.64
10	66回利付国庫債券(5年)	1.61

ポートフォリオの状況

	組入比率	ベンチマーク	差
国債	75.50%	74.21%	1.29%
地方債	6.20%	6.17%	0.03%
金融債	2.17%	2.20%	-0.02%
政保債	5.60%	5.48%	0.12%
社債	9.59%	9.71%	-0.12%
円建外債	0.22%	0.80%	-0.58%
MBS	0.72%	1.28%	-0.56%
ABS	0.00%	0.15%	-0.15%
合計	100.00%	100.00%	-

ポートフォリオの状況は純資産総額をもとに計算しております。

「複利利回り」とは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したもののです。利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。

「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受取れる利息の割合のことです。修正デュレーションとは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。当資料はあくまで情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧説を目的とするものではありません。

投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証及び利回り保証のいずれもありません。

当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データはあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

投資信託は

1.預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金・保険機関及び保険契約の保護機関の対象ではありません。また証券会社を通じて購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。

2.金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額については元本保証及び利回り保証のいずれもありません。

3.投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合があります。これによる損失は購入者が負担することとなります。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント

DIAM
ダイアム

【募集代理店】 取扱者(生命保険募集人)
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1 17 3

TEL: 0120 375 193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

保証金額付特別勘定年金特約(定期型)付変額個人年金保険(06) 保証金額付特別勘定年金特約(定期型)付変額個人年金保険(06) 特別勘定の月次運用レポート(2009年2月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、DIAMアセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況 [2009年2月末日現在]

ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド



基準価額およびベンチマークは2007年1月17日の値を10,000として指指数化しております。
ベンチマークは、MSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース、配当込み)です。

比率は組入株式時価総額比

騰落率

	1ヶ月 (2009/01/30)	3ヶ月 (2008/11/28)	6ヶ月 (2008/08/29)	1年 (2008/02/29)	設定来 (2007/01/17)
当ファンド	-1.17%	-11.32%	-49.63%	-51.29%	-56.55%
ベンチマーク	-1.45%	-11.06%	-49.47%	-51.02%	-56.12%
差	0.28%	-0.26%	-0.16%	-0.27%	-0.43%

純資産総額 182,400 百万円

設定来の騰落率は2007年1月17日を基準に算出しています。

MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が公表しているインデックスで、当指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に属しております、また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 1322銘柄)

No	銘柄	国名	業種	比率(%)
1	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	石油・ガス・消耗燃料	3.00
2	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品	1.20
3	PROCTER & GAMBLE CO	アメリカ	家庭用品	1.18
4	AT&T INC	アメリカ	各種電気通信サービス	1.16
5	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア	1.10
6	CHEVRON CORP	アメリカ	石油・ガス・消耗燃料	1.06
7	NESTLE SA-REGISTERED	スイス	食品	1.01
8	BP PLC	イギリス	石油・ガス・消耗燃料	1.00
9	INTL BUSINESS MACHINES CORP	アメリカ	コンピュータ・周辺機器	0.98
10	WAL-MART STORES INC	アメリカ	食品・生活必需品小売	0.93

株式には投資証券、投資信託受益証券及び新株予約権証券を含む場合があります。

組入上位10カ国

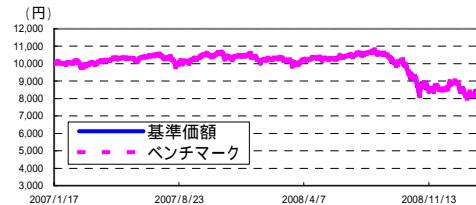
組入上位10業種

No	国名	比率
1	アメリカ	55.07%
2	イギリス	10.74%
3	フランス	5.21%
4	カナダ	4.82%
5	スイス	4.58%
6	ドイツ	4.10%
7	オーストラリア	3.15%
8	スペイン	2.23%
9	イタリア	1.71%
10	オランダ	1.25%

	業種名	比率
1	エネルギー	13.96%
2	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	10.14%
3	食品・飲料・タバコ	6.81%
4	資本財	6.75%
5	銀行	6.39%
6	素材	5.88%
7	電気通信サービス	5.51%
8	公益事業	5.34%
9	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	5.11%
10	ソフトウェア・サービス	4.53%

外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

比率は組入債券時価総額比



基準価額およびベンチマークは2007年1月17日の値を10,000として指指数化しております。
ベンチマークは、シティグループ世界債券インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)です。

騰落率

	1ヶ月 (2009/01/30)	3ヶ月 (2008/11/28)	6ヶ月 (2008/08/29)	1年 (2008/02/29)	設定来 (2007/01/17)
当ファンド	8.53%	1.36%	-15.51%	-13.45%	-11.29%
ベンチマーク	7.75%	1.75%	-15.28%	-13.27%	-10.99%
差	0.77%	-0.39%	-0.23%	-0.18%	-0.31%

純資産総額 313,490 百万円

設定来の騰落率は2007年1月17日を基準に算出しています。

シティグループ世界債券インデックスは、シティグループ・グローバル・マーケット・イングが開発した債券インデックスです。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 336銘柄)

No	銘柄	通貨	組入比率(%)	残存年数
1	US T/N/B 5.75 08/15/10	米ドル	2.07	1,467
2	US T/N/B 3.875 05/15/10	米ドル	2.00	1,217
3	US T/N/B 4.0 11/15/12	米ドル	1.53	3,717
4	US T/N/B 6.5 02/15/10	米ドル	1.53	0,967
5	US T/N/B 4.5 11/15/10	米ドル	1.47	1,717
6	US T/N/B 4.875 04/30/11	米ドル	1.39	2,175
7	US T/N/B 4.375 08/15/12	米ドル	0.88	3,467
8	ITALY BTPS 5.25 08/01/11	ユーロ	0.87	2,428
9	ITALY BTPS 5.0 02/01/12	ユーロ	0.86	2,928
10	DEUTSCHLAND 5.25 07/04/10	ユーロ	0.86	1,353

通貨別比率

通貨	比率
ユーロ	51.34%
米ドル	33.44%
イギリス・ポンド	9.26%
カナダ・ドル	2.36%
デンマーク・クローネ	0.92%
ポーランド・ズロチ	0.80%
スウェーデン・クローネ	0.61%
オランダ・リングギット	0.54%
シンガポール・ドル	0.44%
ノルウェー・クローネ	0.30%
合計	100.00%

ポートフォリオの状況

	当ファンド	ベンチマーク	差
平均複利利回り	2.79%	2.84%	-0.05%
平均クーポン	4.72%	4.40%	0.32%
平均残存期間	8.35	8.43	-0.08
修正デュレーション	5.94	6.03	-0.09

ポートフォリオの状況は純資産総額をもとに計算しております。
「複利利回り」とは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。利回りは、計算日時点の評価にもとづいており、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受取れる利息の割合のことです。
「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。
当資料はあくまでも情報提供の目的でありますので、投資家に対する投資勧説を目的とするものではありません。

投資信託は、実質的に株式や債券等の個別資産の有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証及び利回り保証のいずれもありません。

当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した上で作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

投資信託は、
1.預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金保険機関及び保険契約は保険機関の保証の対象ではありません。また証券会社を通じて購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2.金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額については元本保証及び利回り保証のいずれもありません。

3.投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することになります。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント

DIAM
ダイアム

【募集代理店】 取扱者(生命保険募集人)
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1 17 3

TEL: 0120 375 193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

保証金額付特別勘定年金特約(定期型)付変額個人年金保険(06)
保証金額付特別勘定年金特約(定期型)付変額個人年金保険(06)

リスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

この保険は積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしきみの変額個人年金保険です。特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行なっており、株式および公社債の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあります。特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、運用実績によっては、ご契約を解約した場合の払いもどし金額等が一時払保険料等を下回る場合があります。

【諸費用について】

ご契約者にご負担いただくこの保険の費用は、契約初期費用・保険契約管理費・運用関係費の合計金額となります。
! なお、年金種類の変更により一般勘定年金を選択された場合には、年金管理費がかかります。

特別勘定繰入前に控除される費用

項目	費用
契約初期費用	ご契約の締結などに必要な費用 一時払保険料に対して5% (例)一時払保険料1,000万円の場合、50万円

据置期間中に控除される費用

項目	費用	ご負担いただぐ時期
保険契約管理費	特別勘定年金受取累計金額(既払年金累計金額)と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持などに必要な費用 特別勘定の積立金額に対して 年率2.3% (例)その日の特別勘定の積立金額が1,000万円の場合、1日あたり約631円	毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費*1	特別勘定の運用などに必要な費用 投資信託の純資産額に対して 年率0.315%程度 (税抜き:年率0.30%) (例)その日の投資信託の純資産額が1,000万円の場合、1日あたり約87円	特別勘定にて利用する投資信託において、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

年金受取開始日以後に控除される費用(特別勘定年金受取期間中)

項目	費用	ご負担いただぐ時期
保険契約管理費	特別勘定年金受取累計金額(既払年金累計金額)と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持などに必要な費用 特別勘定の積立金額に対して 年率2.3% (例)その日の特別勘定の積立金額が1,000万円の場合、1日あたり約631円	毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費*1	特別勘定の運用などに必要な費用 投資信託の純資産額に対して 年率0.315%程度 (税抜き:年率0.30%) (例)その日の投資信託の純資産額が1,000万円の場合、1日あたり約87円	特別勘定にて利用する投資信託において、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

年金受取開始日以後に控除される費用(年金の種類の変更により一般勘定年金を選択した場合)

「年金払特約(06)」により年金をお受け取りいただく場合を含みます。

項目	費用	ご負担いただぐ時期
年金管理費*2	年金のお支払いや管理などに必要な費用 年金額に対して1.0% (例)年金額が100万円の場合、1万円	年金受取日に、責任準備金から控除します。

*1 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量などによって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。なお、運用関係費は運用手法の変更、運用資産額の変動などの理由により、将来変更される可能性があります。

*2 年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

【その他の留意事項について】

受取総額保証金額(定期型)

受取総額保証金額の最低保証は、据置期間(5年～17年)と特別勘定年金受取期間(3年～15年)の合計期間が20年である場合に限られます。積立期間中にご契約を解約される場合、もしくは年金受取期間中に積立金額を一括でお受け取りいただく場合には、お受け取りになる金額が一時払保険料を下回る場合があります。

【募集代理店】 取扱者(生命保険募集人)
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
TEL : 0120 375 193
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>